

クリニックレター 2016.9月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていた「きたい事をビビッドに発信していきます」。

早いもので、今年ももう、3分の2が過ぎてしまいました。

9月ってどういう月なのかな、って考えてみると……

前半はまだまだ8月の暑さが尾を引いて、「晩夏」というところでしょうか。台風もこれからがシーズン本番ですね。

しかし、9月も中盤になると、そろそろ秋の風が吹き始め、太平洋高気圧のあとに「秋雨前線」が居座るようになるのもこの頃でしょうか。

そうして、お彼岸が過ぎ、少しずつ少しずつ、秋の色に染まり始める……そんな中、私のスケジュール帳（スケジュール管理はいまだにアナログです）を見てみると、9月10月で講演が4回、大学講義が2回、講師をつとめる研究会が2回と、それなりに予定がはいっており、その合間合間に、遊びの予定を入れて……とやはり今年の秋も例年と同じく忙しく過ぎていきそうです。

今年の8月は、ほとんど雨も降らず、気持ちの休まる日もないような暑さでしたが、このような年には、気候が大きく変化する9月以降に体調を崩しやすくなるものです。皆様も、睡眠時間を十分にとって、夏の間消費した生気を回復してください。私も自重したいと思います。

さて、今回から、漢方独特の診察法について、書いてみたいと思います。今回は「脈診」についてのQ&Aです。

Q1) 診察室で、先生はよく右と左の両方の脈をみられますが、脈拍数は右も左も同じだと思います。どうして左右の脈をみられるのですか？

A) 西洋医学での脈診は、脈の速さ（脈拍数）、不整脈があるかどうか、をみるくらい（「くらい」といっては西洋医学に失礼ですね^^）ですが、漢方では、患者さんがどれくらい元気があるか、緊張しているか、冷えているか、のぼせているか、イライラしているか、食べ過ぎていないか、体に水分が停滞していないか、などを脈診から読み取るのです。また、脈診理論には、右の脈は「気」、左の脈は「血」をあらわす、という説や、手首に近い部分から「寸」「関」「尺」という3つの部位が、それぞれ、漢方的な臓器（五臓）の状態を反映しているとの説もあります。

Q2) 脈はなぜ、人によってちがうのですか？

A) 普段の脈診は、左右の橈骨動脈の橈骨茎状突起部位の約3横指部分（難しい表現ですね）で（裏面へ）



おこないます。

脈の状態を決定する要因は次のようなものがあります。

- 1) 心臓の動きと心臓から拍出される血液の量
- 2) 心臓から橈骨動脈までの血流速度と血管の状態
- 3) 脈を触れている部位の皮膚から血管までの組織の状態
血管外組織の厚み、弾力性、浮腫みの状態、皮膚の硬さなど
- 4) 末梢血管の血流・末梢血管抵抗
- 5) 血液が心臓に帰る道筋（静脈還流）の状態

これらは患者さんそれぞれによって全く異なりますので、その結果として、脈の状態は百人百様の個人差があるのです。

Q3) 脈は毎日変わるものなのですか？

A) 脈は患者さんの体質を反映するものですが、急性の病気や、急なストレス、前の晩に寝不足をした、とか、お酒を飲みすぎた、などで変化します。

また、「妊娠脈」といって、妊婦の方も特徴的な脈象があらわれることがあります。

Q4) 以前に漢方を出してもらっていた先生は脈診をほとんどされませんでした。なぜでしょうか？

「漢方を処方できる」とこと「漢方について詳しく知っている」とことは全く違います。漢方の診察法の中でも、特に、脈診は、十分な経験と知識とを必要とするため、「漢方も処方できますよ」というレベルの医師では（脈診をおこなうことは）無理だと考えます。

★★★★★★★★★★★★★★★★

漢方について、より詳しくお知りになりたい方は、当クリニックホームページ (<http://www.nishimotoclinic.jp/>)の「漢方について」をお読みください。

★★★★★★★★★★★★★★★★

8月6日(土)に、当院待合室にて、「舌下免疫療法」の説明会をおこないました。当日は6名の患者様に参加をいただき、西本院長から、アレルギー性鼻炎の原因や機序についての説明、アレルギー舌下免疫療法についての具体的な治療のプロセスや費用、適応となる病態及び適応禁忌のケース、起こりうる副作用と対応方法などに関する説明があり、そのあと、出席した看護師も交えて、患者様との自由で活発な質問や討論がおこなわれました。とても有意義な土曜の午後の1時間半でした。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようお願いいたします。駐車場での長時間のアイドリングもお控えください。

休診のお知らせ

9月20日(火) 9月23日(金)の院長外来は休診とさせていただきます。

クリニックレターのバックナンバーをお読みにになりたい方は、クリニックのホームページをご覧ください。